

題材名 「学校のまわりのようすや家のまわりのようすを調べよう」

目標

- ・校区について興味や関心を持ち、学校を中心とした校区の様子を理解することができる。
- ・校区について、発見したことや気づいたことを発表することができる。
- ・地図の表示について、拡大、縮小など自分で操作することができる。

コンピュータを活用する利点

通常、校区探検などは実際に道を歩いて探検し、様々なものを再発見したり、調べてみたいことを見つれたりするが、上空から校区全体を見渡したり、家の周りを見渡してみたりすることはできない。

しかし、コンピュータを利用することにより、あたかも鳥になったかのように、通学路などを上空から辿ったりすることも可能となる。自分の家、学校などの位置関係が、地図などで見るよりも、よりリアルにイメージすることができる。

授業の流れ

校区探検を思い出し、
本時の課題を知る。

パソコンを使う準備を
する。

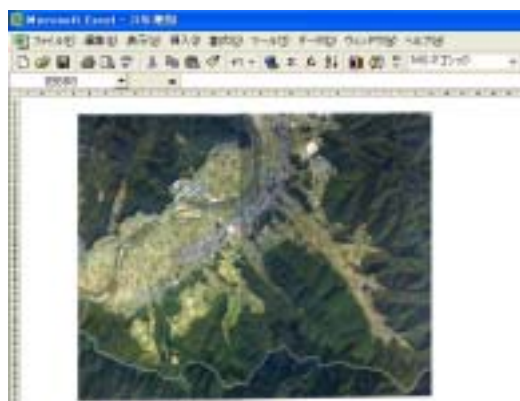
ソフトウェアの使い
方、操作方法を学習す
る。

ソフトウェアを操作
し、地図を使って通学
路や校区探検した場
所などを調べる。

発見したことを中心
に、本時のまとめをす
る。

ICT 活用場面

実際に児童自身が自分の足で校区の様々な場所を探検をした後に、その場所を思い出させるように、「では、みんなが探検した場所を鳥になって空から見たら、どんな景色なんだろうね。」とたずね興味を持たせ、まずは、学校を中心に、自分の通学路を辿らせることから始め、実際に探検した場所を上空から観察した。その際、詳細に観察したい児童には地図表示の拡大方法を教え、全体を見渡したい児童には、縮小表示の方法を教えるなど行った。



成果と課題

かなり詳細な航空写真を使用することで、自分の家の屋根の上までも鮮明に見ることができ、学校を中心とした建物等の位置関係だけでなく、自分の家を中心とした、周りの様子を詳しく観察することができた。また、通常は見ることが出来ない景色であるので、児童も驚きとともに、興味を持って、意欲的に取り組んでいた。

ICT 活用環境

使用周辺機器	ノートパソコン・プロジェクタ
使用ソフトウェア	Microsoft Excel
使用教室	コンピュータ室